

C. elegansの個体の大きさの制御機構の解析

講演者 大島 靖美

<九州大学大学院理学研究院>

日時: 2003年11月13日(木)
16:00 ~ 17:00
場所: A棟7階セミナー室

-要旨-

演者らは、個体の大きさの決定・制御機構の解明をめざして、線虫 *C. elegans* を用いて研究を行っている。現在までに、個体および主要器官の体積等の測定法の開発、大型変異体の分離、その原因遺伝子の一つ *egl-4* (cGMP 依存キナーゼをコードする) の同定、大型および既存の小型変異体の個体及び細胞の大型化、小型化の機構の解析、小型変異体 *sma-5* の原因遺伝子 (MAP キナーゼをコードする) の同定などを行った。これらの研究とともに、個体の大きさの研究全体の概要をIntroductionとして述べたい。

-参考文献-

Hirose et al. Development 130, 1089-1099 (2003).
大島靖美: 体の大きさと形の制御、飯野・石井編「線虫 究極のモデル生物」
シュプリンガー・フェアラーク東京(2003)
Nagamatsu and Ohshima: Genes to Cells, in press.

Host

細胞移動研究チーム
西脇 清二
: 078-306-3262 (内線: 1745)
E-mail: nishiwak@cdb.riken.jp